

## 地方公立博物館の現場から 一学芸員の奮闘一

佐々木 進（栗東歴史民俗博物館）

栗東歴史民俗博物館は、平成2年（1990）9月、人口5万人に満たない滋賀県栗太郡栗東町（平成13年に市制施行）の設立した博物館として開館。延床面積は2,935㎡、RC造2階建てになる。平成6年8月に登録博物館、平成9年2月に重要文化財の公開承認施設。平成19年10月に国登録文化財となった旧中島家住宅は、寄贈された民家を平成5年に移築復元し、体験学習の場として活用している。

基本方針は、地域の優れた歴史的文化遺産を市民の共通遺産として受け継ぎ、次の世代へと伝えていくため、地域にかかわる博物館資料の収集・保存に努め、博物館資料の情報を広く市民に提示することを目的としている。地域文化を物語る資料の掘り起こし、住民一人ひとりの自主的な生涯学習活動の支援、市民に活用される、開かれた博物館づくりを基本に、歴史を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与することを使命としている。

展示室は2室あり、第1展示室では通史展示「栗東の歴史と民俗」、第2展示室では、第1展示室の通史展示を補う企画展やテーマ展を開催している。常設展示室と企画展示室の区別ではない。第1展示室で「栗東の歴史と民俗」のすべてを語ることはできない。モノ資料には、資料の質、量、保存状態などに制約がある。第2展示室は通史展示「栗東の歴史と民俗」を補う展示室として位置付け。相互に補完しあう関係をもつ。

第Ⅰ期 平成2～4年 博物館法第2条に依拠した公立博物館の一つとして出発

第Ⅱ期 平成5～14年 常設展示の充実を目標 → 常設展のテーマをもとに企画展を開催

第Ⅲ期 平成15～20年 市民、地域とともに活動する博物館づくりへ

常設展示の充実を目指した館活動から市民・地域とともに歩み、成長し、楽しむ博物館へ

### 1. 調査研究、展示活動のテーマ

- ・ 金勝寺を中心とした仏教文化 寺院からの寄託
- ・ 立場を中心とした街道文化 地域おこしの相談
- ・ 辻村鋳物師 全国的な展開
- ・ 大字単位で地域史を掘り下げる小地域展の開催 35年計画

### 2. 博学連携事業 小学生3・4年生対象の体験教室「昔のくらし」

### 3. 市民学芸員の育成・支援

- ・ 名所図会の輪読会、見学会
- ・ 梵鐘・喚鐘調査
- ・ 館蔵資料の整理
- ・ 体験教室のボランティアスタッフ